

平成30年度 学校評価

鳥根県立横田高等学校

学校経営方針

(1) 奥出雲町唯一の県立学校としての使命を常に自覚し、生徒一人ひとりのニーズや抱える課題を把握しながら、生徒・保護者及び地域の要請や期待に応えられるような教育活動を、教育目標『耕心培学』のもとに、学校全体で展開する。
 (2) 「地域の学校」として、生徒や学校の存在が地域の活力の原動力となるよう、「開かれた学校」を推し進め、生徒の元気や学校の活力を奥出雲町内外に発信する。

本年度の目標	重点目標	目標達成のための方策	評価指標	自己評価	学校関係者評価		改善策
						意見等	
キャリア教育の推進 学力の向上	生徒の学力の向上	① ICT機器などを活用し、授業の工夫、改善を行い、授業力を向上させ生徒の学力を向上させる	生徒による授業評価 4.3ポイント以上 生徒、保護者、教職員アンケートによる肯定的評価80%以上	C	B	ICT機器を教室に導入したことにより、学びの環境がより整ったと思われる。これからの活用を望むとともに、対話的な授業実践を期待する。	主体的・対話的で深い学びにつながる授業方法の知恵など各教科で共有できるよう、公開授業の支援や学習指導案作成推進に努める。
	教員の授業力の向上	② 家庭学習調査を定期的 に実施し学習習慣を身に つけさせる 面談などを通し、生徒理 解に努め個別指導などを 実施する	学習時間調査の結果 60分以上 90% 90分以上 50% 生徒、保護者、教職員 アンケートによる 肯定的評価80%以上	C	C	家庭学習の習慣をつけさ すためにも、知的好奇心 を高め、教員自身が魅力 的な授業をする必要があ る。また具体的な課題を 与えることにより、家庭 学習のベースを作る必要 もある。スマホ等の利用 時間も調べる必要があ る。	担任との面談等を通して、生活習慣や学習習慣について自ら振り返り、改善や目標設定について考えさせるように学年部と連携しながら必要な支援を検討していく。
授業力の向上 自己実現の支援	学習習慣の確立、支援	③ 「みちしるべ」の発行、 企業訪問、各種体験学 習等を通じた、進路情 報の提供を充実させる	生徒、保護者、教職員 アンケートによる 肯定的評価80%以上	C	B	積極的に外部講師の活用 を考えて欲しい。教員の 評価が良い割に、保護者 評価が低い。原因を究明 して対処して欲しい。	知りえた情報を生徒・保護者 に提供するとともに、ポ ートフォリオ（情報蓄積） を進めていく。また「み ちしるべ」の内容を刷新し、 生徒に役立つものへと していく。
進路情報の適切な提供	進路情報の適切な提供	④ 各学期に1回実施する 人権・同和教育に関する ホームルームや講演を 通し、人権教育を進め、 生徒の人権意識を高め る また、生徒の情報共有 に努め組織として対応 する	生徒、教職員アンケート による 肯定的評価80%以上	B	B	ネットや携帯からの大人 が見えないいじめやトラ ブルについても引き続き 人権問題の一つとして取 り組みの継続をお願い したい。生徒の2割が否 定的な評価をしているの はかなり問題あり、と考 えられないか。一人一人 を大切にしたい教育を 望む。	その場限りにならないよう 生徒の振り返りの方法を 検討する。日々の生活 の中でその都度助言・指 導を行い、教員間の共通 理解を深めていく。生徒 の情報共有に関しては、 組織的な対応が確実に 形成されているので、 より充実を図る。
	人権尊重の精神 意欲的で活力に満ちた学校づくり 豊かな感性や知性の醸成	人権尊重の精神の涵養	⑤ 全校生徒が参加できる 稲穂祭等の行事を生徒 会主体とするともに地 域へのPRを充実させ 学校の魅力を高める	生徒、保護者、教職員 アンケートによる 肯定的評価80%以上	B	B	地域を巻き込む仕掛け 作りをしてもらいたい。 今年度の体育祭は各地 区の地区民体育大会と 重なり、残念だったと の声を多く聞いた。
キャリア教育の推進	地域と連携した生徒会活動の充実	⑥ 「奥出雲学」や「だ んだんカンパニー」を 中心に魅力化事業を充 実させ、学校の魅力を 高める	生徒、保護者、教職員 アンケートによる 肯定的評価80%以上	B	B	着実に良いものになっ てきている。横田高校 の特色として県内外に 学校の魅力として発信 できていると思う。一 方でこの取り組みに対 する先生方の率直な意 見もききたい。	総合的な学習の時間（ 地域連携）を担当する 新分掌を設置し、活動 目標を再検討すると ともに、内容の見直し を図る。
地域から信頼され期待される学校づくり	保護者や地域への情報発信	⑦ 学校からの情報を発 信するため、コーディネ ーター通信と連携した 「稲田が丘」の発行と ホームページの内容を 充実させる	生徒、保護者、教職員 アンケートによる 肯定的評価80%以上	B	B	町内に対しては十分に 情報発信が機能してい ると感じるが、町外、 県外に対しては一考の 必要あり。また保護者 が求める情報はどのよ うなものか再考する 必要もある。	フェイスブックに掲載 されている情報につ いても、HP等で広く アナウンスをしてい く。ペーシングの有 効活用し情報発信を 積極的に行う。
	保護者や地域との連携の推進	⑧ 学校行事等の公開 やPTA活動を通して、 保護者や地域と連携 した活動を充実させ る	保護者、教職員アン ケートによる 肯定的評価80%以上	C	C	行事の公開はジョー ーホー奥出雲を更 に利用していく。ま た地域から情報を 引き出す仕組み作り も必要と考える。	保護者や地域が交流 できる機会を検討 する。
	中高連携の推進	⑨ オープンハイスク ールの開催や研修会 への相互参加等を通 し中学校との交流連 携活動を充実させる	教職員アンケートに よる肯定的評価80% 以上	A	B	中学校との交流活動 は充実していると思 うが、町内に住む子 ども達が横田高校を 選んでくれるにはど うすれば良いか。学 力、魅力化事業とも に充実している高 校であると、中高の 教員で共通理解を しているか。	オープン＝ハイスク ールを夏休み中に 実施し、生徒と中 学生が交流する場 面を増やす。中高 の連携を強めると 共に、教科別に小 中高の従業研究の 場を設定していく。

評価基準 (A・B・C・D 4段階) A: 目標達成 B: ほぼ達成 C: 達成までもう一歩 D: 達成に至らず

○学校関係者評価委員からの主な意見

・高校を卒業すれば、自宅を離れ一人で社会生活をする生徒がほとんどである。すべての生活を自分で考え選択し動くためには、学力・思考力が基本的な育っていなければ難しいと思う。学習する楽しさと共に思考力をしっかり育ててあげて欲しい。
 ・地域住民も横田高校を支える一つの柱として、学校と共に寄り添っていかれたらと思います。